

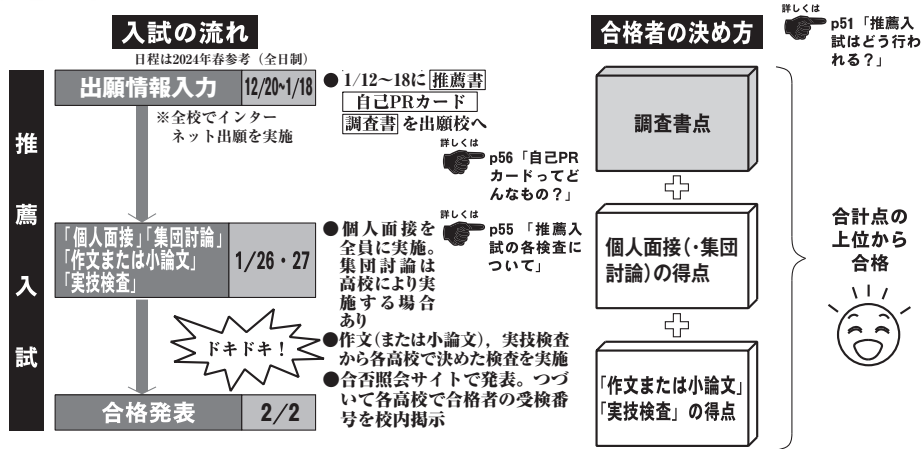
東京都立高校の入試システム

(2024年春)

基本の『き』

1 推薦入試の流れと合格者の決め方

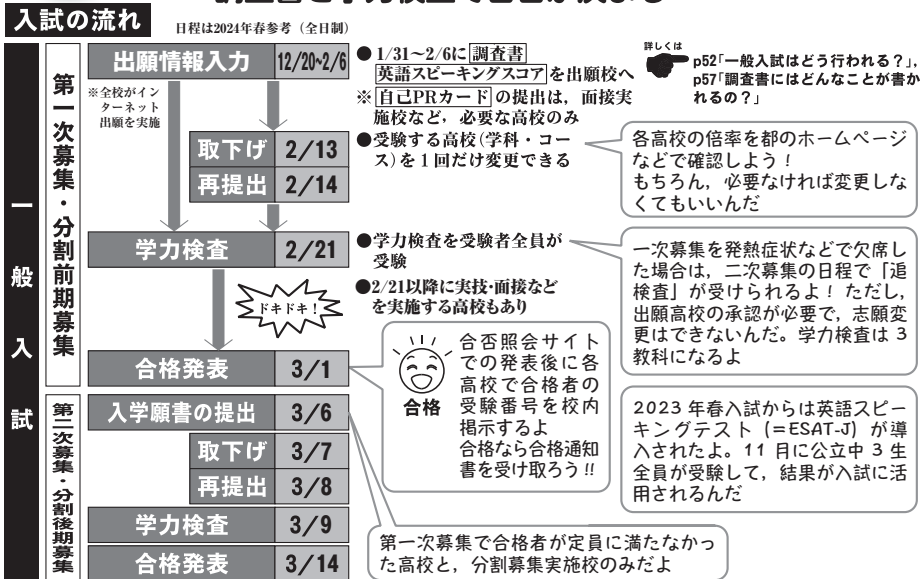
1~2日で行う各検査と調査書により選考される



基本の『き』

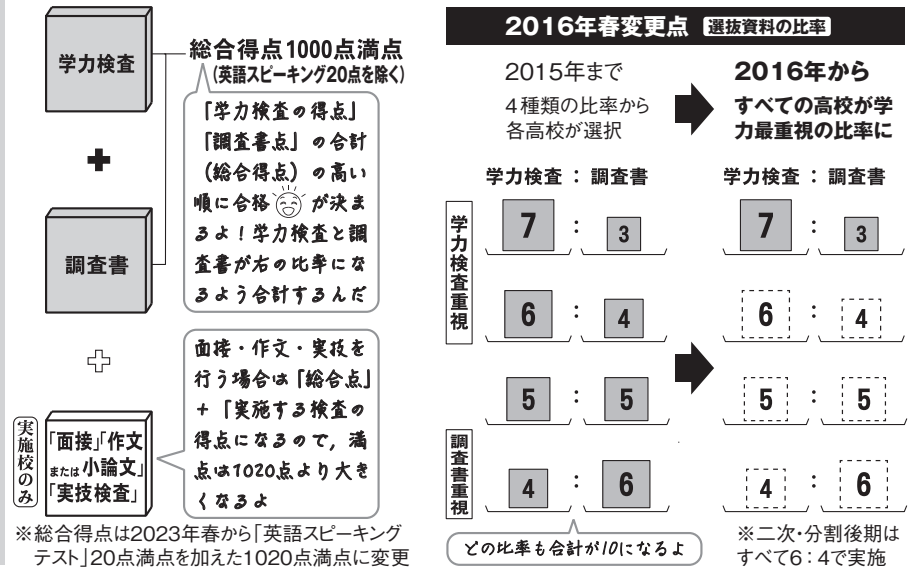
2 一般入試の流れと合格者の決め方

調査書と学力検査で合否が決まる



合格者の決め方

入試での得点力(学力検査の得点)と中学校の成績(調査書点)のどちらが大切なのだろうか?



押さえておきたい基礎知識

1 推薦入試はどう行われる?

思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を評価し、選考を行う

一般推薦

募集枠 普通科→定員の20%まで 農・商・工・産業科→定員の40%まで その他→定員の30%まで

選抜方法

調査書…基礎的な学力
個人面接(・集団討論)…思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力などを問う
作文・小論文…文章表現力・論理的思考力などを問う

★p55に各検査の詳細を記載しています。

<選考例>西高校の場合(2024年春)



合計900点満点で、上位から合格者が決まる

選抜では、「調査書」と、「個人面接」の結果、「集団討論」「作文または小論文」「実技」のうち実施した検査の結果を各高校が独自に点数化します。調査書点は、ほとんどの高校で各教科の内申(5~1)から次ページのようにして算出した数値を選考に用います(一部の高校では「観点別学習状況の評

価)を使用→p57参照)。合計点のうち調査書点が占める割合の上限は50%です。「自己PRカード(→p56参照)」は、面接を行う際の資料などとして用いられます。なお、2024年春からは「男女別定員→男女合同定員」となり、男女の区別なく選抜されるように変更されました。

内申(評定)を調査書点に換算する計算方法

(Sさんの内申)

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)
評定	4	4	5	5	4	5	3	4	4

Sさんが西高校(調査書の満点 360点)を受験した場合の調査書点は

内申の合計 $4 + 4 + 5 + 5 + 4 + 5 + 3 + 4 + 4 = 38$

調査書点の満点

内申の合計を調査書点に換算 $38 \times \frac{360}{45} = 303.9 \dots = 303$ 点 ← Sさんの調査書点

9教科の内申の満点 小数点以下は切り捨て

文化・スポーツ等特別推薦

2024年春実施校：上野(バレー)・江戸川(野球/ソフトボール/バスケット/バレー/ハンドボール)・清瀬(野球/ソフトテニス)・柏江(野球/サッカー)・城東(野球/サッカー/なぎなた/バスケット/バレー/陸上)・多摩科学技術(理科研究)・文京(野球/バスケット/バレー/陸上)・目黒(野球/バスケット)など。

志願者は、特別推薦の実施校が指定した種目(剣道・野球・サッカー・バスケット・バレー・陸上・吹奏楽など)の中から選んで出願します。あわせて同じ学校の一般推薦にも出願できます。出願にあたっては一般推薦同様の書類に加え、学校長の推薦書

や活動の実績などを証明する書類が必要です。そのうえで、調査書や個人面接(高校により集団討論も実施)の結果、高校が選んで実施する作文・小論文・実技を資料として総合的に選考されます。

押さえておきたい基礎知識

2 一般入試はどう行われる?

学力検査と調査書で、中学における学習の成果を評価します

選抜方法

入試当日の得点(学力検査の得点)700点満点と中学校での学習評価(調査書点)300点満点をあわせて1000点満点で選抜されます。調査書点を算出する際は音楽・美術・保健体育・技術家庭が2倍され、学力検査には5教科ともマークシート方式が導入されています。2023年春からは20点満点の英語スピーキングテストが導入され、合計1020点満点で選抜が行われています。

比率	学力検査	調査書	合計点の高い順に合格者が決まる
7:3	700	300	
(一部の高校は「面接」「作文か小論文」「実技検査」の得点を加える)			

学力検査・調査書の得点

学力検査 5教科 500点満点→700点満点に換算
 ※二次・分割後期は3教科300点満点
 調査書 65点満点→300点満点に換算

受験教科	受験外教科	合計
国語 5 数学 5 英語 5 社会 5 理科 5	音楽 5 美術 5 保健体育 5 技術家庭 5	65
5教科の合計 $5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 25$ $25 \times 1 = 25$	4教科の合計 $5 + 5 + 5 + 5 = 20$ $20 \times 2 = 40$ (小数点以下は切り捨て)	65
25	40	65

英語スピーキングテストの得点

英語スピーキングテスト → 20点満点
 2023年春入試より、英語4技能のうち「話す」能力を評価する英語スピーキングテスト(ESAT-J)を導入。「学力検査+調査書=1000点満点」に加算した1020点満点による選抜に変更。

○実施日程(2024年春入試)
 WEB申込: 2023年9/12(火)~10/9(月)
 ESAT-J受験: 2023年11/26(日) 予備日12/17(日)
 生徒用マイページ・先生用サイトへの結果公開: 2024年1/11(木)
 スコアレポート郵送: 2024年1/22(月)

○問題構成
 「英文を読み上げる」2題
 「質問を聞いて応答する/意図を伝える」4題
 「状況を英語で説明する」1題
 「自分の意見を述べる」1題

○評価方法
 A~Fの6段階評価を下記のように点数化
 A=20点 B=16点 C=12点
 D=8点 E=4点 F=0点

1020点満点にするには? (例) 傾斜配点, その他の検査を行わない高校の場合

分割募集	男女枠緩和	第1次募集		分割前期募集		満点				
		学力検査	調査書	学力検査	調査書	面接	小論文・作文	実技検査		
—	—	国数英社理	1倍	2倍	7:3	700	300	—	—	—

※2023年春からは20点満点の「英語スピーキングテスト」が加わったほか、「面接」「作文または小論文」「実技検査」を実施する高校では検査の得点を加算して選抜されます。

$$\text{学力検査の得点} \times \frac{700}{500} + \text{換算内申} \times \frac{300}{65} + \text{英語スピーキングテストの得点} 20 = \text{受験者の総合得点 (1020点満点)}$$

押さえておきたい基礎知識

3 「学力検査」と「調査書」の重みが違うと何が変わる?

「学力検査:調査書=7:3」の選抜では、内申低めでも得点力でばん回できる!

Aさん まじめで内申が良いが試験では緊張するタイプ
 学力検査の得点275点 内申9教科37(国4 数3 英4 社4 理4 音4 美5 保体4 技家5)

Bさん 内申はさほど良くないが模試ではいつも成績が良かった
 学力検査の得点322点 内申9教科29(国3 数4 英3 社3 理3 音3 美3 保体4 技家3)

「7:3」の選抜で合格ライン640点の場合

Aさん
 学力検査点 学力検査の得点を換算する... $275 \times \frac{700}{500} = 385$
 調査書点 内申を換算する... $(4 + 3 + 4 + 4 + 4) \times 1 + (4 + 5 + 4 + 5) \times 2 = 55$
 国数英社理 音楽 美術 技家
 換算内申55をさらに計算すると $385 + \frac{300}{65} = 253.8 \dots \Rightarrow 253$
 総合得点 $385 + 253 = 638$ 点 → 不合格

Bさん
 学力検査点 学力検査の得点を換算する... $322 \times \frac{700}{500} = 450.8 \dots \Rightarrow 450$
 調査書点 内申を換算する... $(3 + 4 + 3 + 3 + 3) \times 1 + (3 + 3 + 4 + 3) \times 2 = 42$
 国数英社理 音楽 美術 技家
 換算内申42をさらに計算すると $450 + \frac{300}{65} = 193.8 \dots \Rightarrow 193$
 総合得点 $450 + 193 = 643$ 点 → 合格

入試をもっと深く知ろう

1 内申点1点の重み

換算内申(65点満点の場合)の「1点」に対し、学力検査得点(500点満点)は下のように対応します。

学力検査:調査書	換算内申	学力検査得点
7:3の場合	1点 →	3.3点
6:4の場合	1点 →	5.1点
5:5の場合	1点 →	7.7点
4:6の場合	1点 →	11.5点

換算内申の「1点」を埋めるために必要な学力検査の得点は、「学力検査:調査書」が「4:6」の場合は11.5点ですが、2016年より全校で採用となった「7:3」の場合は3.3となり、ばん回しやすくなります。

2 一般入試の選抜方法

自作作成問題 → 進学指導重点校7校・進学重視型単位制高校3校で実施

生徒の能力や適性、学習の到達度をより正確に評価することを目的に、右の10校において国・数・英の問題を自校で作成しています。2014年～2017年は各校個別の問題ではなく、各グループ内で作成した問題を出題。2018年からは2013年までと同様の自作作成問題に戻り、各校個別の出題となっています。

・進学指導重点校（2024年春）

英語は大問1が都立共通のリスニングで、重点校7校ともに大問2は「対話文」、大問3は「物語文（立川・国立）」「説明文（日比谷・戸山・青山・西）」「エッセイ（八王子東）」を出題。さらに大問4として、日比谷は「英作文」、西では「説明文」を追加する構成でした。

7校の多くで40～50語程度の記述問題を含んでいます。都立共通問題の長文は総語数1800語程度でしたが、重点校グループでは2400～3000語程度の長文が出題されています。

数学は7校とも大問4題構成でした。大問1が「小問集」、大問2が「2次関数」で、大問3は「円（日比谷・

グループ	校数	学校名
進学指導重点校	7校	日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立
進学重視型単位制高校	3校	新宿、国分寺、墨田川

戸山・国立)「平面図形（青山・西・八王子東・立川）」を出題。大問4は「空間図形（日比谷・戸山・青山・八王子東・立川・国立）」「文章題（西）」としています。

国語は漢字の読み書きと大問3題の構成。作文を含んでおり、日比谷は250字、八王子東は240字、立川は150字で、ほか4校は200字となっています。

・進学重視型単位制高校（2024年春）

新宿・国分寺・墨田川ともに英語は大問4題構成で、40語程度の英作文が出題されています。数学も3校で大問4題構成。国語は漢字と大問3題の構成。3校それぞれで200字の作文が含まれています。

10校とも英語リスニングと理科・社会は都立共通の問題を使用。国際は3教科入試のうち英語のみ自作作成（100点満点・50分）で出題しました。

男女合同定員 → 男女別定員校の一定割合を男女合同で選抜する移行期を経て2024年春より男女合同定員に

都立高校（コース・単位制・専門学科を除く）では70年以上にわたって男女別の定員に基づく合格者選抜を行っていました。高校により「男女枠緩和」の措置が設定可能で、2021年春入試では男女別定員を設定した110校のうち42校が募集人員の90%を男女別の順位で合格者を決め、残り10%を男女合同の順位で合格者を選抜しています。2021年9月に東京都

教育委員会はジェンダー平等などの観点から「男女合同定員」による入学者選抜へ移行する方針を発表。2022年春入試では10%の「男女枠緩和」措置を全校で実施し、2023年春入試では措置の枠を「10%→20%」に拡大しました。2024年春入試では「男女合同定員」が導入され、推薦・一般ともに男女の区別なく入学者選抜が行われるよう変更されました。

傾斜配点 → たとえば「英語×2倍」など特定教科の得点を大きくする配点

コース制・単位制・専門学科などでは、英語の得点を2倍にするなど、特定の教科の満点の点数を変えられる「傾斜配点」を行うことができます。

傾斜配点を行う場合、下のように教科数や配点の変え方で満点が違ってきます。こうした傾斜配点実施校では自分の得意教科を生かすことができます。

【例】松が谷（外国語） 2024年春	
傾斜配点	100点×2 + 100点 + 100点×2 + 100点 + 100点 = 700点 (国語) (数学) (英語) (社会) (理科)

学力検査時間割 (2024年春参考)

集合	国語	数学	英語	昼食	社会	理科
8:30	9:00～9:50	10:10～11:00	11:20～12:10		13:10～14:00	14:20～15:10

3 推薦入試の各検査について

推薦入試の検査は1～2日間で実施されます。選抜資料は「調査書」「個人面接（高校により集団討論も実施する場合あり）」に加え、「小論文または作文」「実技検査」「その他学校が設定する検査」のうち1つ以上となっています。検査の日程や順番は各校で異なります。

個人面接

→ 志望理由や高校に入ったらやりたいこと、将来の希望など一般的な質問のほか、集団討論で言い残したことを聞かれたケースもあるようです。

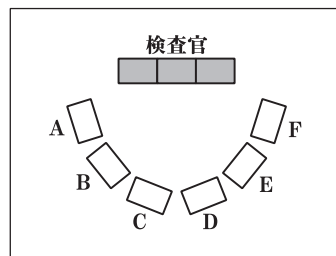
自己PRやパーソナルプレゼンテーションなど、定められた時間内に個人の能力のアピールを行う高校もあります。

集団討論と同じ会場で、同じ検査官が面接を行います。集団討論と総合して採点するため、集団討論で失敗したとしてもばっ回できるチャンスがあります。あきらめずに取り組みましょう。

集団討論

→ 必要と判断した高校で実施。定められたテーマについて6人前後のグループで30分程度の討論を行います。検査官は3人の場合が多く、1人が進行役、2人が採点。

▼会場の配置例



▼集団討論の概要

- ・円形や半円形に机が並べられ、A・B・C・D・E・Fと書かれた札があり、討論中は「Aさん」「Bさん」と呼び合います。
- ・検査官からテーマが発表されます。注意書きやテーマ内容の書かれた用紙が配布される高校が多く、自由にメモができます。
- ・まず、テーマについて考えをまとめる時間が数分間与えられます。その後、指名または挙手順に、自分の考えを1分程度で発表します。
- ・全員が発表した後、討論の開始です。検査官が司会をする場合、グループのうち1人が司会役になる場合、司会進行役を立てない場合など、高校やグループによりさまざまです。
- ・最後に1人ずつ結論を発表したり、グループとしての結論を代表者1人が発表したりして討論を終わります。
- ・最初に配られたメモ用紙は回収される高校とされない高校があります。回収されても採点には影響しません。

▼テーマ例

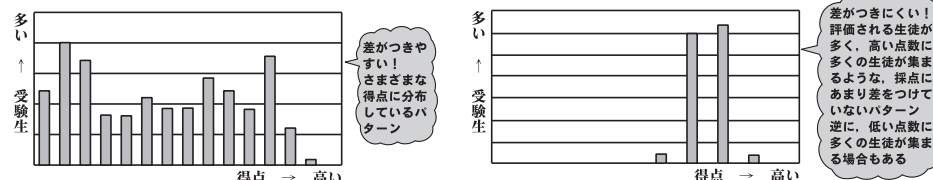
- ・人工知能の活用とルールについて討論する。
- ・国際社会に貢献できる人材になるために、何を学び、身につけていくべきか。
- ・時間を守ること、服装を整えること、挨拶をすることの大切さについて。
- ・インターネットやSNSを利用する際の注意点。

個人面接と集団討論の得点分布が各高校のホームページで公表されています。受験者の得点は正規分布に近い学校が多いです。

小論文・作文

→ 個人面接や集団討論ではコミュニケーション能力やリーダーシップ、協調性などを評価します。それに対して小論文・作文では文章による表現力や論理性が問われます。採点基準は高校により異なります。得点分布が各高校のホームページで公表されていますが、広く分散している分布や、近い得点に集中している分布などさまざまです。

小論文・作文の得点分布



👍 左のような得点分布の場合、内申点に対する逆転が起こりやすくなります。

1 自己PRカードってどんなもの？

受験生が記入して高校へ提出。面接の資料として使われる

ワンポイントアドバイス

1 志望理由について

まず、各高校のホームページなどで学校のことをよく調べておきましょう。校風や学校独自の行事・部活動などを例にあげて、各校で公表している「本校の期待する生徒の姿」を参考にしながら、自分が「なぜこの高校に入りたのか」と関連づけて書いていけばよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて

学習に関すること、行事・部活動など材料はいろいろありますが、全部書くこととするのが絞られすぎます。そこで、「小学校時代と比べて何が変わったか(どのように成長したか)」を中心にして、具体的なことがらについて、考え方がどのように変わり、そこから何を学んだかを書いていきましょう。

3 高校卒業後の進路について

将来の夢をかなえるために具体的に何をしたいか、高校入学後にどんなことをしたいか、将来就きたい職業などについて書き、その理由もつけ加えましょう。

自己PRカードの記入例。志望理由、中学校生活での学び、卒業後の進路についてを記入している。

(2024年春用)

2 絶対評価？ 相対評価？

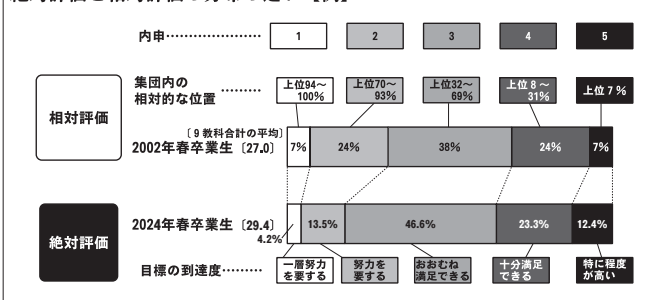
→絶対評価に変わり、5と4の割合が拡大

内申(評定)は、2002年度の中学の学習指導要領改訂に伴い、2003年春卒業生より相対評価から絶対評価に変わりました。相対評価での5段階の内申は「5」「1」各7%、「4」「2」各24%、「3」38%という配分が決まっていた。一方、絶対評価では、指導要領に示されたそれぞれの目標への到達度が5段階で評価され、配分の制限はありません。

右の絶対評価のグラフは、2024年春卒業生の第3学年12月末の9教科平均による各内申の割合を示したものです。相対評価と比べて「5」「4」の割合が大きくなり、「2」「1」が小さくなっています。つまり、絶対評価に変わって、内申が高めについているのです。

なお、2003年春に高くなって以降は2024年春まで各内申に大きな変動は見られません。

絶対評価と相対評価の分布の違い【例】



3 調査書にはどんなことが書かれるの？

→学習成績や中学生活のようすを記録した資料

- ① 各教科の学習の記録(評価) ……第3学年の12月31日現在の各教科の観点別学習状況の評価。A~Cの3段階で記入される。
- ② 各教科の学習の記録(内申) ……①の評価をまとめた内申(評定)。いわゆる調査書点(内申点)と呼ばれるもので、1~5の5段階で記入。
- ③ 総合的な学習の時間内容及び評価 ……第3学年での総合的な時間で設定した課題と内容。学習状況と成果を評価し、文章で記入したもの。
- ④ 諸活動の記録 ……道徳および特別活動、学校内外のその他の活動のうちから、特筆すべき成果をあげた生徒についての活動の事実や実績。2023年春からは英語スピーキングテスト(ESAT-J)の結果(A~F評価)を追記。

調査書の記入例。科目別の学習状況、総合的な学習の時間、諸活動の記録が記入されている。

(2024年春用)

▶観点別学習状況の評価

推薦の観点別学習状況の評価を活用した調査書点は、このA・B・Cの評価を基にして計算します。高校ごとにA...○点、B...△点、C...□点と決まっています。その数値の合計が得点となり、調査書点の満点に換算されます。2024年に観点別学習状況の評価を調査書点として用いた高校は、全日制普通科ではエンカレッジスクールの蒲田・足立東・東村山・秋留台の4校でした。

第2次募集・分割後期募集について

第1次募集を実施後、分割後期募集に加え、入学手続き者数が募集定員に達しなかった高校の第2次募集が行われます。分割募集は、1998年から実施

されている入試方法で、あらかじめ第1次募集(分割前期募集)と第2次募集(分割後期募集)の定員を設けておくことができるシステムです。

2024年には全日制のべ21校21学科が分割募集を実施しました。

4 都が取り組む魅力ある学校づくり

入試制度の多様化が進む一方、難関大学進学を目指す学校という位置づけで、2001年に日比谷・戸山・西・八王子東が、2003年には青山・立川・国立が**進学指導重点校**に指定され、進学指導を充実させるためにさまざまな支援を受けています。また、2007年には進学指導重点校に準じる**進学指導特別推進校**(国分寺・小山台・駒場・新宿・町田・国際〔2013年に追加指定〕)やその次に位置する**進学指導推進校**が設置されました。さらに2012年から2023年までの10年計画で、生徒一人ひとりの潜在的な能力を伸ばすために、都立高校改革推進計画が進められていました。学校改革にあわせて、新しいタイプの学校が設置

されるなど「都立高校の特色づくり」も進められてきました。2000年に墨田川が「進学重視型」単位制高校として開設され、2002年には国分寺が、2003年には新宿が同じタイプの単位制に移行しました。また、2003年に足立東と秋留台、2006年に練馬工業、2007年に蒲田、2010年に東村山、2018年には中野工業がエンカレッジスクールに改編されました。

このほか、少子化による生徒数の減少に伴って高校の統廃合も進められ、統合後は単位制高校・総合学科高校などに衣替えしています。新設校の中にはチャレンジスクールなど、昼夜間定時制高校もつくられています。

新しいタイプの学校（一部抜粋）

- 単位制高校** ④…専門性の高い科目や特色ある科目など、多数の選択科目が用意されています。自分だけの時間割をつくって、進路や興味にあわせて学習することができます。キャリアガイダンス（進路相談）が充実しています。学年の枠にとらわれずに幅広い選択科目が設置されているため、学年を超えた異年次間の交流もできます。 → **飛鳥・翔陽など**
- 進学重視型単位制高校** ④…大学進学に重点を置く単位制高校です。国公立・私立、理系・文系など、さまざまな大学・学部への進学を可能にするため、大学受験に必要な**演習系**の選択科目がそろっているのが特徴で、学力をつけたい科目を集中的に学べます。 → **国分寺・新宿・墨田川**
- 総合学科高校** ④…普通科と専門学科をあわせもつ単位制高校です。選択科目は普通科目から専門性の高い科目まで幅広くそろっていて、学習しやすいように**専門分野ごと**にまとめた「系列」が設けられています。自分の興味や関心、希望進路に応じて選択できます。キャリアカウンセラーが常駐し、進路や科目選択の相談に応じています。 → **晴海総合・杉並総合など**
- エンカレッジスクール** ④…エンカレッジは「力づける」とか「励ます」という意味です。生徒のやる気を引き出すようなわかる授業を目指し、**集中力の持続を考えた30分の短時間授業（1年次のみ）**や**少人数・習熟度別授業**を導入したり、午前中は通常授業で、午後は体験学習を盛り込んだ授業を実施するなど、時間割の構成を工夫しています。 → **足立東・秋留台など**
- チャレンジスクール** ④…小・中学校での学校生活になじめなかったり、これまで自分の能力や個性を十分に発揮できなかった生徒のための学校です。自分の目標にチャレンジできる学校ということで、この名前がつけられています。無学年制で3部制の単位制総合学科高校です。自分の生活スタイルや学習ペースにあわせて、各時間帯で学習します。 → **桐ヶ丘・世田谷泉など**
- 新たなタイプの昼夜間定時制高校** ④…総合学科のメリットを取り入れながら、学年制の良さを残した、3部制の単位制普通科高校です。生徒の多様な進路実現を支援する、きめ細かい指導が特徴で、ボランティアなどの校外活動が単位として認められる**マイレージ制**が導入されています。 → **浅草・荻窪など**

***単位制**→④ 最低74単位（学校により異なる）の修得により卒業可能な制度です。
 ***総合学科**→④ 普通科と専門学科の枠を超えた選択科目を専門分野ごとにまとめた「系列」を中心に学習します。
 ***少人数制**→④ 既存の定時制や、チャレンジスクールなどの昼夜間定時制は、全日制普通科が1クラス40名であるのに対し、30名の少人数クラス編成です。また、エンカレッジスクールでは、科目によっては1クラスを2分割するなどして、少人数・習熟度別授業を積極的に行っています。
 ***三修制**→④ 3部制（午前・午後・夜間各4時間の3つの時間帯のいずれかで学ぶ）をとる昼夜間定時制は4年かけて学ぶのが基本ですが、1日4時間以上受講することにより3年間での卒業も可能です。

5 学校改革と入試制度変更の歴史

都立高校ではさまざまな改革が進められてきました。次の表は、都立高校のおもな学校改革と入試制度改革についてまとめたものです。2016年2月には都立高校改革推進計画の「新実施計画」が策定され、2019年2月には2025年までの再編校が発表されています。

～2010年までのおもな入試制度の改革		
年度	おもな学校改革	入試制度のおもな変更点
1967年…	全日制普通科で「学校群制度」を導入	
1982年…	全日制普通科で「学校群制度」を廃止し、「グループ合同選抜制度」を導入	
1994年…	全日制普通科で「グループ合同選抜制度」を廃止し、「単独選抜制度」を導入	
1995年…	普通科に推薦を導入	1998年… 一般に特別選考・男女枠の緩和・分割募集を導入
2001年…	日比谷が自校問題作成に（2001～2010年までにあわせて15校が自校問題作成校に）	
2003年…	学区を撤廃	2004年… 「文化・スポーツ等特別推薦」を導入
2013年 (平成25年)	進学指導特別推進校…国際・国分寺・駒場・小山台・新宿・町田 進学指導推進校…江戸川・北園・江北・小金井北・小松川・城東・墨田川・竹早・調布北・豊多摩・日野台・三田・武蔵野北	選抜方法 ▶推薦で、総合成績に占める調査書点の割合の上限が50%に ▶推薦で、小論文・作文・実技から1つ以上の検査を全高校で実施 ▶推薦で、個人面接に加え、原則として集団討論を実施 ▶推薦の選抜枠が縮小
2014年 (平成26年)	⑤⑤⑤H（～2018年）戸山	選抜方法 ▶単位制普通科の推薦枠の上限を30→20%に縮小 ▶自校作成問題の出題をグループ別の共同作成に移行
2016年 (平成28年)	推進校 医学部等を進学希望する生徒による「チーム」の結成 戸山 理数アカデミーの取組み 富士 国際バカロレアの取組み 国際	選抜方法 ▶学力検査3～5教科→5教科（全校でマークシート方式を導入） ▶「学力検査：調査書」＝「7：3」「6：4」「5：5」「4：6」→「7：3」 ▶調査書の実技4教科×1.3（または1.2）倍→×2倍 ▶特別選考（一般入試定員の10～20%を高校独自の方式で選抜）→廃止
2018年 (平成30年)	再編 葛西工業・多摩工業…デュアルシステム科を設置 中野工業…エンカレッジスクールに改編 ⑤⑤⑤H（～2022年）立川	選抜方法 ▶グループ作成問題実施の進学指導重点校7校、進学重視型単位制高校3校が自校作成問題に移行
2019年 (平成31年 令和元年)	⑤⑤⑤H（～2023年）戸山	
2020年 (令和2年)	再編 五日市…商業科を特色ある普通科に改編	
2021年 (令和3年)	再編 赤羽商業→赤羽北桜…家庭・福祉高校に改編 富士・武蔵…高校外部募集停止	選抜方法 ▶合格発表方法にインターネットを追加 ▶出願方法を持参→郵送に（ネット出願を試行）
2022年 (令和4年)	荒川商業→小台橋…チャレンジスクールに改編 立川…創造理数科を新設 両国・大泉…高校外部募集停止 田柄…外国文化コース募集停止 五日市…ことばと情報コース募集停止 立川国際中等教育学校…小中高一貫教育校に改編 ⑤⑤⑤H（～2026年）日比谷・多摩科学技術	選抜方法 ▶男女別定員校の全校で男女枠緩和を実施
2023年 (令和5年)	白鷲…高校外部募集停止 ⑤⑤⑤H（～2027年）立川	選抜方法 ▶英語スピーキングテスト結果を活用 ▶男女枠緩和を定員の10→20%に拡大
2024年 (令和6年)	⑤⑤⑤H（～2028年）国分寺	選抜方法 ▶男女別定員→男女合同定員に移行
2025年 (令和7年) （予定）	立川地区チャレンジスクール…新設（2025年） 新国際高校（仮称）…港区白金に新設（年度未定）	

* ⑤⑤⑤H … 文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール